

## 屋外タンク貯蔵所清掃中の火災事例

平成18年1月17日(火)、愛媛県今治市の太陽石油(株)四国事業所の原油タンク(容量10万キロリットル)で火災が発生し、5名が死亡、2名が軽傷を負いました。軽油を注入してスラッジを希釈し、ポンプで吸引除去する作業中の事故でした。防爆型のスタンド式照明装置が転倒したことが原因と見られていますが、転倒時の衝撃火花、破損によるフィラメント露出等、直接の着火源は特定されていません。

屋外タンク貯蔵所清掃時の火災事故は、昭和50年～平成16年の30年間に、10件発生しています。その概要は表のとおりです。人が関わる作業のため、大半の事故で人災となっています。名古屋市の油槽所で平成15年に発生した6名死亡のタンク火災は記憶に新しいと思います。これら事故事例を参考として、想定しうる危険要因を洗い出し、類似事故の防止に役立ててください。

\* 屋外タンク貯蔵所の内部清掃作業に係る火災事例(昭和50年～平成16年)

写真: 消防庁危険物保安室提供



写真: 消防庁危険物保安室提供

